

前回の審議会での提案内容の反映状況について

提案 1 『農産物の魅力的な PR について』

《総合計画の該当箇所》

○まちづくりの基本方針 2

政策の柱 2-2/魅力ある農業の振興 主要施策/①新規就農者への支援

○まちづくりの基本方針 7

政策の柱 7-2/信頼される行財政運営 主要施策/①広報活動の強化

提案内容の要旨	市の取組
ラジオや動画（映像）など、様々な媒体を活用して市の特産品の PR をしてほしい。	<p>今年 4 月に全国の信用金庫のネットワークを活かして、地域経済の活性化や地域創生を推進する『よい仕事おこしフェア』という組織に県内の市として初めて加盟し、市の特産品を全国へ宣伝し、販路拡大・開拓に向け取り組んでいる。</p> <p>また、男女共同参画の一環として、山下市長自らが家事（料理）を行う動画を制作した。料理するメニューに、本市の特産品であるトマトをふんだんに使ったパスタやサラダ、イチゴやミカンを加工したジャムなどを使い、地元の農産物を積極的に利用し PR に繋げている。</p>

（参考）

伊豆の国市男女共同参画の推進事業 「おとう飯キャンペーン」

《山下市長による本市特産品を使った男料理の様子》



スマートフォンにより左記の QR コードを読み込むことで動画を見ることができます。

提案2『大河ドラマを活かした観光誘客、
市民の郷土愛・ウエルカムの気持ちの醸成について』

◀総合計画の該当箇所▶

○まちづくりの基本方針3

政策の柱3-1／訪れたいまちづくり

主要施策／①旬を活かした魅力の発信 ②観光基盤の整備

○まちづくりの基本方針4

政策の柱4-1／歴史・文化・芸術を活かすまちづくり

主要施策／③郷土資産を学ぶ機会の創出

提案内容の要旨	市の取組
<p>大河ドラマの放送を契機に多くの来訪者に期待したい。</p> <p>市民にも本市は歴史のあるまちであり、そこに住んでいるということに誇りを持っていただくことで、ウエルカムの気持ちが醸成され、今後の新たな観光の創出につながるのではないかと思っている。</p>	<p>大河ドラマ館の入館者数は8月〇日現在で〇〇人と、既に当初の目標であった10万人を超えている。</p> <p>大河ドラマ館のある葦山時代劇場で、市民団体等が中心となり毎月第3日曜日に「ひだまりマーケット」を開催している。天候により人の出入りは左右されるが、継続して開催していることもあり市民のリピーターもいる。</p> <p>大河ドラマ放送を契機に、推進協議会が中心となり、商工会や花咲く推進協議会、建設業協会、ミライ会議など多くの市民団体や関係機関が協力して全国の来訪者を迎えている。この体制が構築できたこと、この体制を今後活かすことが大河ドラマのレガシーの一つと考える。</p>

提案3『自分自身の健康を伸ばす取組について』

《総合計画の該当箇所》

○まちづくりの基本方針4

政策の柱4-3／生涯学習の充実 主要施策／②生涯スポーツの推進

○まちづくりの基本方針5

政策の柱5-2／健康づくりの推進 主要施策／①健康寿命の延伸

提案内容の要旨	市の取組
<p>コロナ禍により人が集まり機会が制限される時代だからこそ、自分自身の健康を伸ばす取組に力を入れてほしい。</p>	<p>現在のところ、自分自身の健康を伸ばす特別の取組はしていないが、これまでコロナの影響により中止となっていた生涯学習のイベント等を令和4年度から対策を講じながら開催している。</p> <p>また、健康づくりに向けた成人向けの体操教室では、これまでのメニューに加え、自宅でも気軽に取り組めるようなものを新たに加えながら実施している。</p>

提案4『市のイメージ、ブランディング等について』

〈総合計画の該当箇所〉

○まちづくりの基本方針1～7

提案内容の要旨	市の取組
<p>情報発信においては、伝えるという面では、広く知らせる広報に加え、ブランディングも重要になってくる。</p> <p>3町が合併して伊豆の国市になってから大分経たったが、いまだに農業と商業と観光と、なかなか1つになっていないということを感じている。何か一本立てて、そこに皆様が向かっていくような形が伊豆の国市でできれば良いと思う。</p>	<p>市のイメージを印象付けるブランディングとまではいかないが、この3月に実施した「まちづくり市民アンケート」で、市民に本市の「イメージ」を調査した。</p> <p>これら結果は、今後の市のブランディングや市制20周年にむけた取組の材料としていきたいと考えている。</p>

(参考)

設問／伊豆の国市にどのようなイメージを持っていますか。(自由記述)

	含まれているキーワード等	割合
1	自然	32.8%
2	歴史	23.2%
3	のどか	9.9%
4	住みやすい	9.3%
5	温泉	8.2%

(参考)

その他、まちづくり市民アンケートの調査結果を掲載している市ホームページ



スマートフォンにより左記のQRコードを読み込むことで市ホームページのアンケート調査を見ることができます。

提案5『子育て情報発信の強化について』

《総合計画の該当箇所》

○まちづくりの基本方針5

政策の柱5-1／子育て支援の充実 主要施策／①切れ目のない育児支援

○まちづくりの基本方針7

政策の柱7-2／信頼される行財政運営 主要施策／①広報活動の強化

提案内容の要旨	市の取組
伊豆の国市が子育てしやすいまちであることは間違いないが、情報発信という点で遅れているという気がしている。	子育てに関する情報発信の一元化、利便性の向上等を目的に、本市の「子育てモバイル」をスマホで容易に利用できるように市オリジナルのアプリを制作したほか、情報収集を子育てママの市民団体へ委託し子育てママ目線による情報発信を行うなど、利便性や有益な情報発信を行い、市の子育て環境の魅力を発信している。 (7月中旬～試験運用。8月1日～本格運用開始。)

(参考)

《子育てモバイルの登録者数》

- ・令和4年4月1日時点 1,422人
- ・令和4年8月8日時点 1,635人 (+213人)

《未就学児の保護者における登録割合》

- ・令和2年度実績 57.4%
- ・令和4年8月8日時点 65.5%

提案6『高齢者の移動手段の確保等について』

＜総合計画の該当箇所＞

○まちづくりの基本方針5

政策の柱 5-3／高齢者福祉の推進 主要施策／②在宅高齢者への支援

政策の柱 5-5／地域福祉体制の充実 主要施策／②見守体制の確立

○まちづくりの基本方針6

政策の柱 6-3／生活安全対策の推進 主要施策／①交通安全の推進

政策の柱 6-4／効果的な都市機能の推進

主要施策／③地域の特性に応じた交通ネットワークの整備

提案内容の要旨	市の取組
<p>高齢者の免許返納の促進と高齢者の移動手段の確保は密接な関係にある。</p> <p>喫緊の課題であるため、行政が地域の皆様の意見を聞きながら、積極的に進めていくべき。</p>	<p>令和4年6月、高齢者福祉施策のあり方審議会を立ち上げた。この審議会では、地域課題を解決するための高齢者福祉施策について、高齢者福祉施策のあり方や方向性、現在の市の施策の見直しについて、調査・審議を重ねていただいている。</p> <p>任期は2ヵ年となっており、最終的な審議会の意見のまとめはまだ先ではあるが、この審議会の中で高齢者の移動手段等についてもご意見をいただく予定であり、それら意見を踏まえ、本市に合った最良の方法を模索していく。</p>

提案7『市民も利用しやすい観光周遊バスについて』

《総合計画の該当箇所》

○まちづくりの基本方針6

政策の柱 6-4／効果的な都市機能の推進

主要施策／③地域の特性に応じた交通ネットワークの整備

提案内容の要旨	市の取組
実証実験中ではあるが、この時期（令和3年10月～令和4年2月）毎日、観光周遊バスが走っている。データ分析をしたところ、平日の利用者の多い。観光客だけでなく市民にも乗りやすいバスにしてはどうか。	これら結果を踏まえ、令和4年3月から観光周遊バス『のる～ら』を、これまでの土日祝日運行から、平日の一部も走らせるように変更した。

（参考：速報値）

- ・ 4月乗車数 合計 1,053 人（うち平日 215 人）
- ・ 5月乗車数 合計 1,622 人（うち平日 385 人）
- ・ 6月乗車数 合計 826 人（うち平日 193 人）
- ・ 7月乗車数 合計 801 人（うち平日 204 人）
- ・ 合計 4,302 人（うち平日 997 人：23.2%）